

議会BCP・ハラスメントに関する特別委員会 行政視察報告書

令和8年2月19日

白山市議会
議長 中野 進 様

議会BCP・ハラスメントに関する特別委員会
委員長 谷 健一

令和8年1月26日に行政視察を行ったので、その概要を報告します。

1. 視察区分 議会BCP・ハラスメントに関する特別委員会
行政視察（オンライン）
2. 視察者氏名 (委員長) 谷 健一 (副委員長) 平野 辰子
藤田 政樹 寺越 和洋 澤田 昌幸
田代 敬子 大屋 潤一 木谷 和栄
山本 佳裕 横山 由裕
3. 事務局職員 (書記) 藤井 亮次 田中壮一郎
4. 視察期間 令和8年1月26日 (月)
5. 視察先及び視察事項

視 察 先	視 察 日 時	視 察 事 項
輪島市議会 (オンライン) 白山市議会 第1・2会議室	1月26日 (月) 13:55~16:05	能登半島地震直後における議会 (議員) の対応などについて

6. 調査概要

【石川県輪島市】・能登半島地震直後における議会（議員）の対応などについて

① 事業概要	<ul style="list-style-type: none">・安否確認については、停電や通信断絶、道路寸断などにより困難を極めたが、目撃情報や電話連絡などを活用し、1月10日（発災後10日目）に全議員の安否確認が完了した。 <p>議会としては、1月17日（発災後17日目）に参集可能な議員、市長、事務局長による情報共有を実施。その後、3月定例会では会期短縮や質問者を代表1名に限定するなど、執行部の震災対応への影響を最小限とする運営上の配慮がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none">・議場や委員会室は被災し、議場天井の照明落下、ガラス破損などにより一時使用不能となったほか、傍聴席や議長応接室は自衛隊の宿泊場所として提供された。・委員会室は避難者受入や執行部利用に供されるなど、議会施設は災害対応の拠点として活用された。
② 取組の経緯	<ul style="list-style-type: none">・震災後、議会は「令和6年能登半島地震復興連絡会議」を設置し、執行部と連携した情報共有と復興に向けた協議を実施。その後、豪雨災害も踏まえ「復興対策連絡会議」へ名称変更し、現在も継続している。・議会事務局長が市の災害対策本部に参加し、その内容を議員へ迅速に共有する体制を構築することで、議会と執行部の円滑な連携が図られた。
③ 課題	<ul style="list-style-type: none">・執行部のBCP策定後、議会独自のBCP策定が必要であること。・通信環境の課題を踏まえたオンライン委員会開催の検討。・災害時における議員から執行部への過度な問い合わせを控え、正確な公式情報を活用する意識の共有。
④ 所感	<p>実際の被災現場の説明から、議会施設自体も被災し、通常の議会活動が困難となる中で、議員一人一人の主体的判断と情報共有することの重要性を強く感じた。</p> <p>特に、グループチャットを活用した情報の一本化や、執行部との密接な連携は、混乱期における有効な手法であり、本市議会においても参考とすべきである。</p>